

2020年度 授業計画 (シラス)

授業科目	成人周手術期看護方法論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	周手術期にある成人の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	周手術期とは	1) 手術とは 2) 周手術期とは			講義	本校教員			
2	身体の一部を喪失した(喪失しようとしている)成人の特徴と理解	1) 手術侵襲による生体反応 2) 手術患者の不安 3) 術後疼痛の体験 4) ボディイメージの変容 5) 新たなセルフケア能力獲得の重要性 6) 手術患者家族および重要他者のニーズ			講義				
3									
4									
5	周手術過程に応じた看護	1) 主体的取り組みへのサポート 2) 手術に対する不安・恐怖への援助 3) 手術に向けた身体準備 4) 手術室への入室			講義 校内実習	本校教員			
6	1. 手術前の看護								
7									
8	周手術過程に応じた看護	1) 手術室とは 2) 手術中の安全・安楽への援助 3) 手術中合併症の予防 4) 手術室看護師の役割			講義 校内実習				
9	2. 手術中の看護								
10									
11	周手術過程に応じた看護	1) 手術後合併症の予防 2) 術後障害への対応 3) 手術による変化・喪失の受容支援 4) 新たな健康管理能力の獲得			講義 校内実習	本校教員			
12	3. 術後の看護								
13									
14	周手術期看護を取り巻く今日的な課題と看護の役割	1) デイサージャーリー 2) リスクマネジメント 3) 倫理的配慮 4) 倫理的ジレンマ 5) 周手術期看護の専門性 6) 再び周手術期看護とは			講義				
15	定期試験 (90分)					本校教員			
教科書、参考書等		系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論, 医学書院, 2019. 成人看護学 周手術期看護, ヌーヴェルヒロカワ, 2020. 高齢者と成人の周手術期看護 術中/術後の生体反応と急性期看護, 第3版医歯薬出版株式会社, 2020.							
評価方法		定期試験、課題レポートなどを総合して行う。							
履修上の注意点		予習または、事前に課題を提示しますので、各自の学習をしっかりと行ってください。 授業の中で、既習の確認も行いますので、解剖生理、基礎看護技術のテキストも持参して下さい。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人リハビリテーション看護方法論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	リハビリテーション過程にある成人の看護を理解する。								
回	主題	授業内容		授業方法		担当教員 (講師)			
1	リハビリテーション看護とは	リハビリテーションの定義と概念 ADL評価ツール		講義		非常勤講師			
2	ADL自立への援助	ADL動作の分析		講義 グループワーク					
3									
4	成人リハビリテーションの特徴	運動器系、脳神経系疾患患者のリハビリテーション		講義					
5		急性期合併症予防の支援 廃用症候群について		講義					
6	合併症の予防	深部静脈血栓症予防 (弾性ストッキングの着用・包帯法)		講義 演習					
7	活用できる社会資源	介護保険で利用できるサービス		講義					
8	関節拘縮の予防と評価	関節可動域 (ROM) 測定・評価 徒手筋力測定・評価		講義 校内実習		非常勤講師			
9									
10	運動療法の実践	ポジショニング 関節可動域運動 松葉杖・杖の処方と歩行方法		講義 校内実習		非常勤講師			
11									
12	リハビリテーションチームメンバーの役割	多職種で働くということ		講義 グループワーク		非常勤講師			
13									
14	心臓リハビリテーション	チーム医療で心臓病を支える		講義		非常勤講師			
15	定期試験 (90分)					非常勤講師			
教科書、参考書等		系統看護学講座 リハビリテーション看護, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		リハビリテーションの経過に応じ、共通の目標に向けた複数の専門職によるアプローチの方法を学ぶ。臨地実習で実践できるように積極的に授業に参加すること。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人クリティカルケア方法論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期					
科目目標	生命の危機状態にある成人の看護を理解する。													
回	主題	授業内容		授業方法	担当教員 (講師)									
1	救急医療概要	クリティカルケア プレホスピタルケア		講義	本校教員									
2	意識障害への対応	意識の観察 意識障害時の看護		講義										
3				講義 校内実習										
4	呼吸障害への対応	呼吸の観察 呼吸障害時の看護		講義										
5				講義 校内実習										
6														
7	ショックへの対応	ショック時の観察 ショック時の看護		講義										
8	致死性不整脈への対応	致死性不整脈の判別 致死性不整脈出現時の看護		講義										
9	モニタリング	モニタリングの目的 モニタリングの種類 モニタリング使用時の看護		講義										
10	心肺停止への対応	一次救命処置 二次救命処置		講義 校内実習										
11														
12	外傷への対応	外傷の種類 外傷時の看護		講義						非常勤講師				
13	ME機器の原理と実際	輸液ポンプ・シリンジポンプ 人工呼吸器		講義 校内実習						非常勤講師				
14														
15	定期試験 (90分)									本校教員 非常勤講師				
教科書、参考書等		系統看護学講座 救急看護学, 医学書院, 2020.												
評価方法		定期試験、課題レポートにより総合的に評価する。												
履修上の注意点														

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人セルフケア 援助論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講		後期							
科目目標	生涯にわたり健康障害のセルフコントロールが必要な成人の看護を理解する。																
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)											
1	成人のセルフケア	1) 成人とセルフケアとは 2) セルフケアの定義			講義	本校教員											
2	患者心理と セルフケア行動	1) 慢性期とは 2) 成人慢性病患者の看護・心理 3) 病みの軌跡、エンパワメント			講義												
3	自己効力感	1) 自己効力理論 (バンデューラ) 2) 行動変化ステージ			講義												
4	成人教育学	1) 成人の学び方 (アンドラゴジー) 2) 教育的役割 (ベナー理論) と コーチングスキル			講義												
5	患者指導技術と 教育用教材	1) 患者教育・指導の方法とプロセス 2) 教育用教材			講義												
6	糖尿病看護と セルフケア	1) 糖尿病看護 2) 糖尿病患者のセルフ支援			講義・演習												
7	糖尿病看護と セルフケア	1) 糖尿病看護 2) 糖尿病患者のセルフ支援			講義・演習												
8	血糖測定	1) 血糖測定の意義、目的、対象 2) 必要物品と注意事項			講義												
9	血糖測定の実際	血糖測定の実際			演習												
10	血糖測定の実際	血糖測定の実際			演習												
11	患者指導・患者教育 の実際	1) フットケアと看護			講義・演習							非常勤講師					
12	患者指導・患者教育 の実際	1) 透析療法と看護 2) シャント管理			講義・演習							本校教員					
13	慢性疾患患者の実際	1) セルフケア指導の実際			講義・講演												
14	慢性疾患患者の実際	1) セルフケア指導の実際			講義・講演												
15	定期試験 (90分)											本校教員 非常勤講師					
教科書、参考書等		系統看護学講座 成人看護学総論, 医学書院, 2020. 系統看護学講座 内分泌・代謝, 医学書院, 2020. 系統看護学講座 腎・泌尿器, 医学書院, 2020. 糖尿病食事療法のための食品交換表, 日本糖尿病学会, H30. 上手な患者教育の方法, 医学書院, 2015.															
評価方法		筆記試験、レポート等を総合して行う。															
履修上の注意点																	

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	成人がん看護	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	成人期にあるがん患者の告知後のサポート、治療上のケア、緩和ケア、痛みのコントロール、家族ケアを理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	がんとは	がんの動向 がん患者として生きていくこと			講義	非常勤講師			
2	がん告知に対する心理的反応	がん告知後のサポート			講義				
3	化学療法と看護	化学療法に伴う看護			講義 グループワーク				
4	放射線療法と看護	放射線療法に伴う看護			講義				
5	緩和ケアとは	緩和ケアとチーム医療			講義	非常勤講師			
6	がん患者の心理疼痛緩和法	心理・社会的ケア 心理的ケア (リラクゼーション)			講義				
7	緩和ケアと症状疼痛緩和法	緩和ケアにおける全人的苦痛の捉え方 緩和ケア (マッサージ)			講義 校内実習				
8	緩和ケアと症状疼痛緩和法	緩和ケアにおける全人的苦痛の捉え方 がん性疼痛のマネジメント 死の受容過程			講義	非常勤講師			
9	人間にとっての死	スピリチュアルケアについて			講義				
10	患者の悲嘆へのケア	家族ケアについて			講義				
11	危篤とは 臨終・死亡時の看護	危篤・終末時の看護 死亡時の看護 死亡時の処置 エンゼルケアチームの役割			講義 校内実習	非常勤講師			
12	がん患者の看護①	排泄経路変更の看護 ストーマ造設患者について			講義				
13		排泄経路変更に伴う合併症の看護 ストーマ造設後の合併症			講義 校内実習				
14	がん患者の看護②					非常勤講師			
15									
16	定期試験 (90分)					非常勤講師			
教科書、参考書等		系統看護学講座 がん看護学, 医学書院, 2020. 成人看護学 E がん患者の看護, 廣川書店, 2011.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		各自が資料を熟読し、課題を確実にこなし参加する。 校内実習は、学校指定の服装で臨む。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	老年生理・疾病 治療論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	老化に伴う諸機能の変化と高齢者に特徴的な疾患を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	高齢者医療	高齢者の定義 高齢者医療の課題と重要性			講義		非常勤講師		
2	高齢者の生理的特徴	老化とは 老化と寿命 各機能の老化			講義				
3	老年症候群	老年症候群の特徴 高齢者における特徴的な徴候 フレイル			講義				
4					講義				
5	高齢者の疾患の特徴	精神・神経疾患 循環器系の疾患 呼吸器系の疾患 運動器の疾患 皮膚の疾患 感覚器の疾患 感染症			講義				
6					講義				
7	高齢者と薬	高齢者の安全な薬物治療 高齢者で注意すべき主な薬物			講義				
8	定期試験 (60分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 老年看護学, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		高齢者に特有な症状・疾患の知識をつけ、臨地実習での看護に活かしてほしい。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	老年生活援助論	分野	専門分野 II	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	老化による健康状態の変化に応じた高齢者の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員 (講師)		
1	高齢者のアセスメント	高齢者のアセスメントの基本 高齢者総合機能評価 (CGA)			講義		本校教員		
2	高齢者の生活を支える 看護	高齢者疑似体験モデルを使った体験			体験学習 グループワーク				
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11		高齢者の ヘルスプロモーション	老年期のヘルスプロモーション 介護予防とヘルスプロモーション			講義 体験学習			
12									
13	様々な生活の場での高 齢者の看護	高齢者虐待の対策と防止			講義		非常勤講師		
14									
15	定期試験 (90分)						本校教員 非常勤講師		
教科書、参考書等		系統看護学講座 老年看護学, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2019.							
評価方法									
履修上の注意点		講義・体験学習・グループワークに参加し、決められた期日内にレポートを提出すること。(期日内にレポートが提出されなければ、評価対象とはならない。)							

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	老年健康障害 看護論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	健康障害のある高齢者の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	健康障害をもつ高齢者の理解	看護過程を用いた高齢者の理解 （病態把握を中心に）			講義 グループワーク		本校教員		
2									
3	脳梗塞で誤嚥性肺炎を 発症した高齢者の看護	事例患者のアセスメントと看護計画 経過にともなう高齢者の看護 検査を受ける高齢者の看護 薬物療法を受ける高齢者の看護 入院治療を受ける高齢者の看護 リハビリテーションを必要とする 高齢者の看護			講義 グループワーク				
4									
5									
6									
7	認知症高齢者の看護	加齢による病態と要因 認知機能の評価 予防治療、療法的アプローチ			講義 グループワーク		非常勤講師		
8		認知症高齢者の対応							
9	摂食・嚥下障害のある 高齢者の看護	高齢者の摂食・嚥下機能の特徴 脳神経疾患患者の摂食・嚥下訓練			講義		非常勤講師		
10		食事の介助（事例の高齢者）			校内実習				
11		口腔ケア（事例の高齢者）			校内実習				
12	排泄障害のある高齢者の 看護	事例から考えられる問題点の抽出			講義		非常勤講師		
13		排泄能力の変化に応じた援助① 失禁の予防と対策 皮膚障害の予防と対処			講義 グループワーク				
14		排泄能力の変化に応じた援助② おむつの選び方・当て方			校内実習				
15	定期試験（90分）						本校教員 非常勤講師		
教科書、参考書等		系統看護学講座 老年看護学, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験、課題提出の状況等により総合的に評価する。							
履修上の注意点		提示した事例について看護診断を用いて看護過程が展開できるように、課題を確実に参加する。各自が立案した看護計画に基づき校内実習をした後、より安全・安楽な計画に修正する。事例展開した一連の記録類（演習記録）を最終的に提出する。							